蓄熱式電気暖房器

「蓄暖王」
Hシリーズ

取扱・据付説明書

★この度は、「蓄暖王」Hシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

★お使いになる前に、必ずこの取扱・据付説明書をよく読んで、ご使用下さい。

★お読みになった後は、大切に保管して下さい。

目　次

⚠注意 1 注意事項

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠警告

分解したり修理・改造は絶対しないでください。

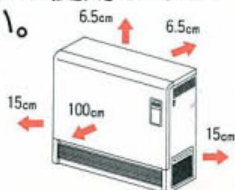
発火、感電、やけどの原因となります。
暖房中、暖房器の内部は約700℃の高温になり非常に危険です。
（修理は販売店または当社へご相談ください。）

本体の近くに衣類やふとん等の燃えやすいものを置かないでください。

（火災の原因となります。）

暖房器の周辺にスプレー缶（ベンジン等の引火物）及び燃えやすいものを置かないでください。

（火災の原因となります。）

カーテン等の燃えやすいものの近くで使用しないでください。

（必ず決められた離隔を取ってください。取らない場合、変形、表面が変色或いは火災の原因となります。）

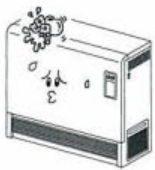
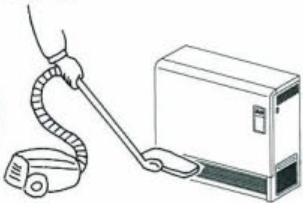
地震等による転倒を防止するために、付属の転倒防止金具を取付けてください。

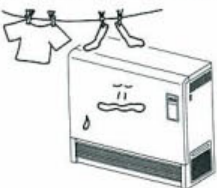
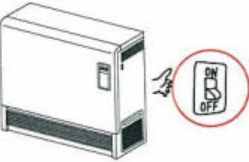
（揺れの大きさによっては、暖房器が転倒することがあり、けがの原因となります。）

乳幼児や身体の不自由な方は、付き添えなしでは使用しないでください。

暖房中は、操作部以外の本体表面及び温風吹出口付近には触れないでください。

（やけどの恐れがあります。）

暖房器吹出口のすぐ前で寝込まないでください。

（低温やけどや脱水症状を引き起こす恐れがあります。）

温風吹出口や吸込口・放熱グリルを塞がないでください。

（故障や火災の原因となります。）

据え付け工事は、必ずお買い上げ販売店または専門業者(電気工事士)に依頼してください。

電気蓄熱暖房器にはブレーカー(個／台)の取り付けが必要となります。

暖房器の上に物を乗せたり、腰をかけたりしないでください。

(パネルを変形すると部分的に温度が上昇し、故障の原因となります。)

ブレーカーは定格容量(アンペア)以上のものを使用してください。

アース線は必ず接続してください。

(取り付けられていないと、感電の原因となります。)

水をかけたり、お茶等をこぼさないでください。

(故障や感電の恐れがあります。)

メンテナンスの時は、必ずブレーカーを「切り」にしてください。

(感電の恐れがあります。)

温風吹出口や吸込口に針金等の金属物、異物を入れないでください。

(感電や故障の原因となります。)

暖房運転中は掃除機等で吸込口、吹出口を吸込まないでください。

(故障の原因となります。)

⚠ 注意

暖房以外(乾燥等)の用途には使用しないでください。

(この暖房器は居室を暖房する目的で製作された製品です。これ以外の用途では使用しないでください。)

湿気の多い(水のかかるおそれのある)場所で使用しないでください。

(感電の原因となります。)

長期間ご使用にならない場合や、動作しなくなったり、異常がある場合は、必ずブレーカーを「切り」にしてください。

電源コードを引張ったり、折ったり、無理に曲げたりしないでください。

(感電や火災の恐れがあります。)

カーペット、畳の上等の不安定な場所には直接設置しないでください。

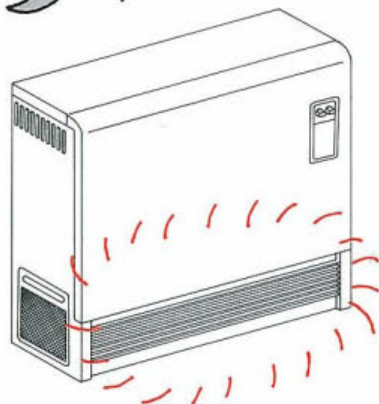
(必ず敷板、板畳等の加工を施した後、設置してください。)

この商品を他の人に売ったり、譲渡する場合はこの取扱・据付説明書を必ず添付してください。

2　蓄暖王の仕組みと特長

「蓄暖王・Hシリーズ」は、深夜の安い電力を利用して、蓄熱レンガに熱をため（600℃以上）、昼間この熱を取り出して暖房する「蓄熱式電気暖房器」です。蓄熱式電気暖房器は、火を使わず室内の空気も汚さないので安全でクリーンな暖房器です。マイコン搭載でさらに賢く、経済的な暖房器です。

蓄熱

暖房

電気エネルギーだから、とても安心。

熱源は、燃料切れや燃料漏れ等による火災などの心配がいらない電気エネルギー。おでかけや、おやすみの時も安心です。

カンタン操作で、お部屋はスグにぽっかぽっか。

室温や蓄熱量の設定ダイアル設定や、ファンの強弱切替もワンタッチ。簡単操作でお部屋をすばやく暖めます。また、暖房予約タイマー内蔵で便利になりました。

ムダ、ムリ、ムラなくボクは経済的。

断熱性能がよく、自然放熱を抑えてあります。春・秋、季節の変わりめの暑すぎはありません。したがってムダな電気代もかからず経済的です。

いつまでも続く陽だまりのようなあたたかさ。

ほのぼのとうれしい蓄暖ならではのマイルドなあたたかさ。一日中陽だまりのような心地良い暖さがあなたをつつみます。

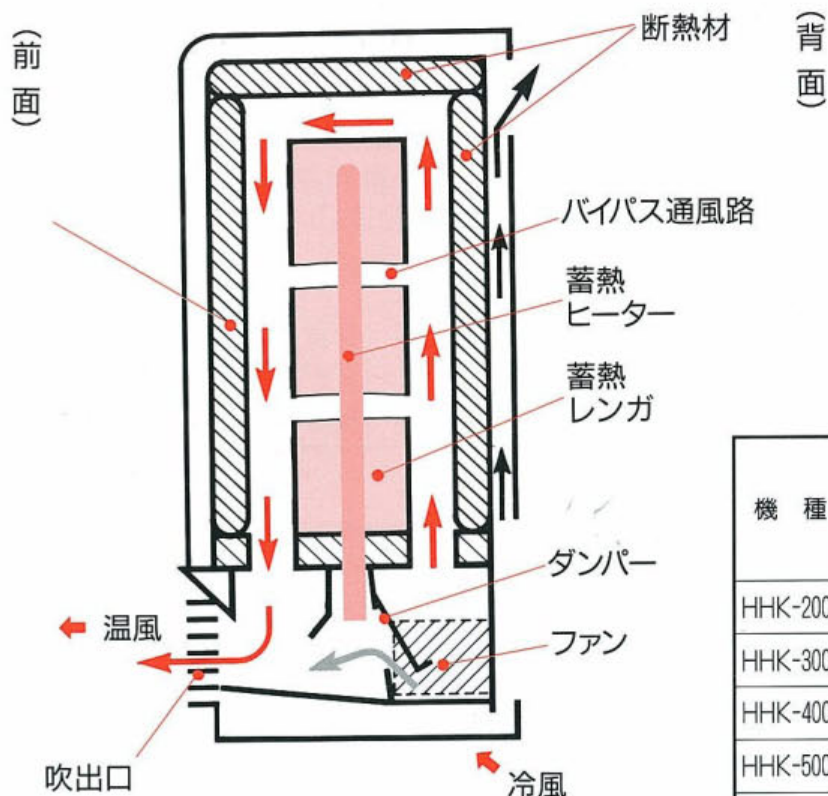
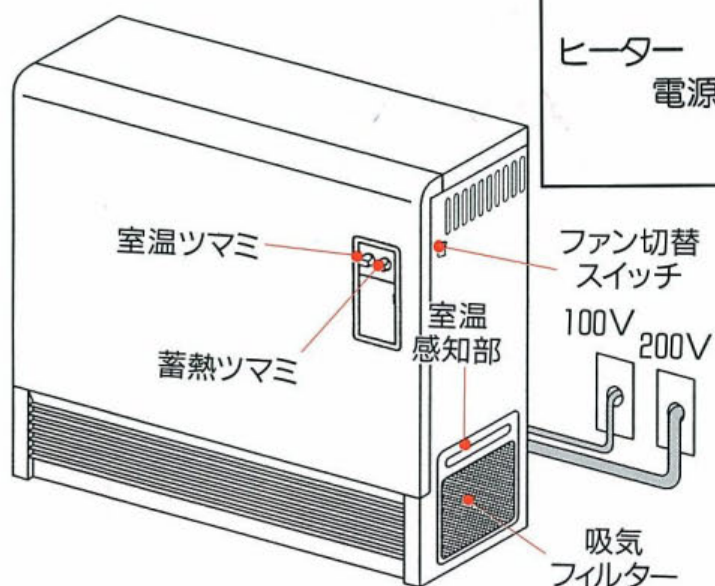
お部屋を選ばないカドがとれたまあるい性格。

コーナー部分を丸くしたバランスのよい設計。さらに和・洋室どちらにも溶け込むよう清潔なアイボリー系を採用しました。

マイコン搭載でさらに賢く経済的。

マイコン搭載のため省エネ運転で暖房器が自動的に蓄熱量をコントロール、無駄な蓄熱がなく、さらに経済的です。

3 構造と各部の名称

【全体構成図】

機　種	A金具	B金具	M5ネジ	平ワッシャー	スプリングワッシャー	タップビス	壁ネジ
HHK-2000	1	2	2	2	2	4	6
HHK-3000	1	2	2	2	2	4	6
HHK-4000	1	3	3	3	3	6	6
HHK-5000	1	3	3	3	3	6	6
HHK-6000	1	4	4	4	4	8	6
HHK-7000	1	4	4	4	4	8	6

配　　線	電圧	機　種	付属ケーブル
ファン電源	100V	全　機　種	耐熱キャブタイヤケーブル 0.75㎟×2C
ヒーター電源	200V	HHK-2000 HHK-3000	耐熱キャブタイヤケーブル 3.5㎟×3C
		HHK-4000 HHK-5000	耐熱キャブタイヤケーブル 5.5㎟×3C
		HHK-6000 HHK-7000	耐熱キャブタイヤケーブル 8㎟×3C

[本体より約1.2m(100V.200Vとも)]

4 操作部の名前と働き

蓄熱量つまみ
・蓄熱量を設定します。

室温つまみ
・室内温度を設定します。

蓄熱中ランプ
・暖房器が蓄熱している間点灯します。

残熱量表示ランプ
・蓄熱量の残りがどれだけあるか表示します。
(5段階に表示します。)

蓄熱中

残熱量

表示ランプ
・暖房予約設定時に点灯します。

時刻表示
・現在時刻を表示します。
・暖房予約設定時、暖房予約の開始及び終了時刻を表示します。
・異常発生時、エラーを表示します。

暖房予約
開始
終了

18:30.

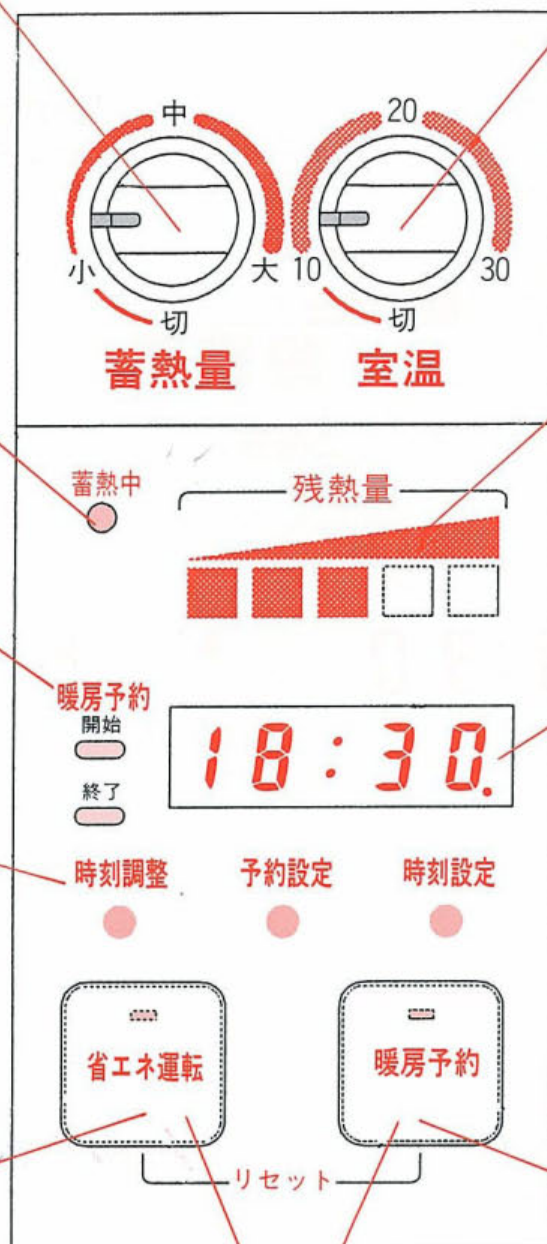
設定スイッチ
・現在時刻の修正及び暖房予約の設定変更を行います。

時刻調整　予約設定　時刻設定

省エネ運転　暖房予約

リセット

省エネ運転ボタン
・ボタンを押すと蓄熱量自動設定モードになります。

暖房予約ボタン
・ボタンを押すと暖房予約を開始します。

リセット
・エラー表示が出たときに、「省エネ運転」及び「暖房予約」ボタンを同時に押すと、エラーを解除できます。

5 操作方法

《いろいろな使い方》この暖房器は手動運転と自動運転を選択することができます。

■手動運転・・・暖房器の基本的な使い方です。

・蓄熱量の設定	7ページ	暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。
・暖房運転	8ページ	室内温度を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。

■自動運転・・・知っていると便利な機能です。

・省エネ運転	9ページ	内蔵マイコンの機能により、暖房状況に応じて蓄熱量を自動的にコントロールします。無駄な蓄熱が無く経済的です。
・暖房予約	10ページ	タイマー機能を利用して、設定した時間帯のみ、暖房運転を行います。

5-1 現在時刻の合わせかた

・蓄熱暖房器の機能を正しくお使いいただくために、始めに時刻表示を現在時刻に合わせます。

例　18時30分に合わせる。 ①100V及び200Vの電源を入れます。	0:00 点滅する
②「時刻調整」スイッチを押して時間を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	18:00
③「時刻設定」スイッチを押します。	18:00 点滅する
④「時刻調整」スイッチを押して分を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	18:30
⑤「時刻設定」スイッチを押すと、時刻表示部の右下が点滅し、時計が動き始めます。	18:30. 点滅する

・「時刻設定」及び「時刻調整」スイッチはボールペンの先などで押して下さい。ハサミの先端や針などの先の鋭いもので押すと、故障や感電の恐れがあります。
・時刻表示がずれると、電気代が高くなる場合があります。
・時刻は24時間表時ですので、午前と午後を間違えないようにして下さい。

5-2　蓄熱量の設定

・暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。

蓄　熱　量		
目盛	設定の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	60%
小	春・秋	20%

蓄熱量の設定

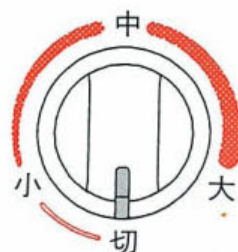
「蓄熱量」つまみで、蓄熱量を設定します。

※つまみの調整により蓄熱量を無段階に調整できます。小～大まで季節に合わせ設定して下さい。（上の表を参考に設定して下さい。）

※蓄熱は深夜の23:00から朝の7:00間に行われます。蓄熱中は蓄熱中ランプが点灯します。

蓄熱の停止

蓄熱を停止する場合は、「蓄熱量」つまみを「切」の位置まで回して下さい。

※「省エネ運転」ボタンのランプが点灯している場合は、「省エネ運転」ボタンを押してランプを消して下さい。（長期間停止する場合は200Vブレーカーを切って下さい。）

残熱量表示ランプ

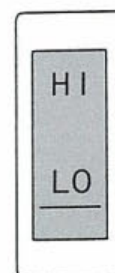
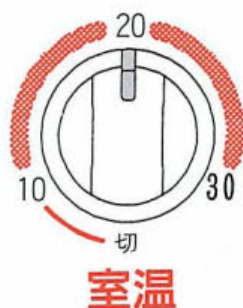
※残熱量ランプは蓄熱中や暖房中に関わらず、どのくらいの熱量が残っているかを常に表示します。蓄熱量を設定する際の目安としてご利用下さい。（5段階で表示します。）

・蓄熱は設定したその日の夜間に行われますので、最初の暖房は翌日から可能となります。

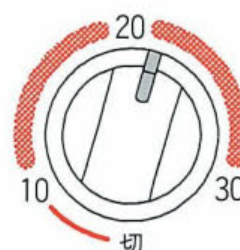
・蓄熱量の設定は夜23:00(PM11:00)時点の「蓄熱量」つまみの位置で決まります。

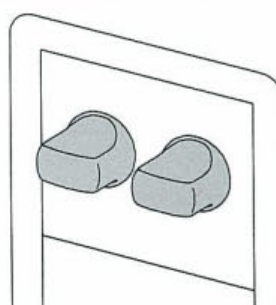
5-3　暖房運転

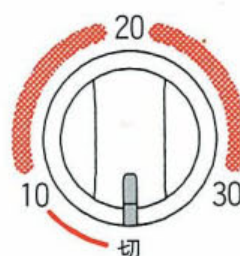
・室内温度を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。

室温

ファン強弱切替スイッチ

室温の設定

「室温」つまみをお好みの室内温度に合わせて下さい。
※設定温度となるように、ファンが自動運転します。
※22℃くらいが経済的な温度です。
※目盛りは温度設定の目安としてご利用下さい。

ファン強弱の切替

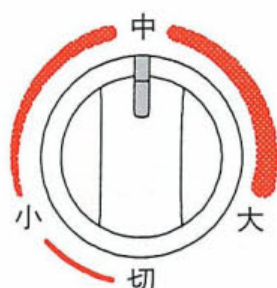
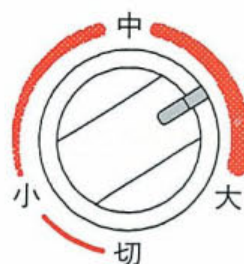
暖房器右側面のファン切替スイッチでファンの強弱を切り替えられます。
※普段は「LO」(弱)で、すばやく部屋を暖めるときは「HI」(強)でお使い下さい。

暖房の停止

暖房を停止する場合は、「室温」つまみを「切」の位置まで回して下さい。

注意

・暖房器の設置状況により、目盛りと実際の室温に多少の誤差が出ることが有ります。

・必要以上に室内温度を上げると、蓄熱量が不足する場合があります。

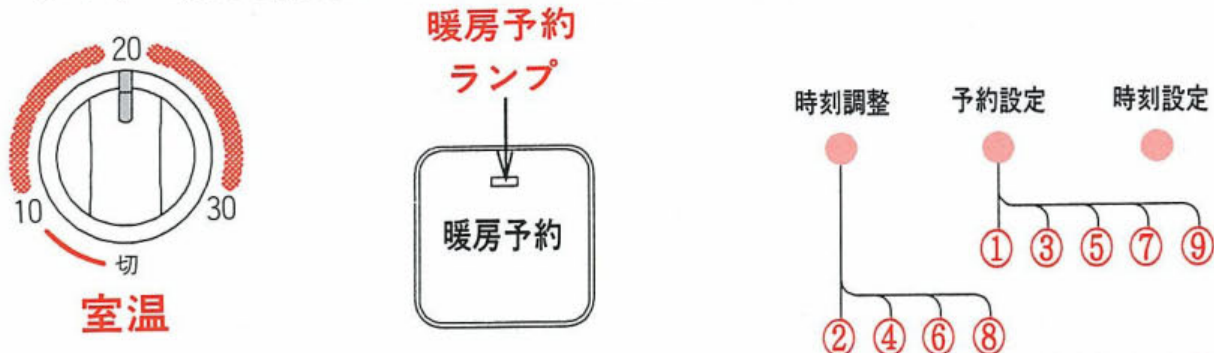
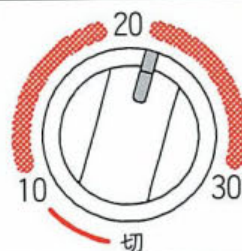
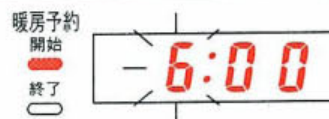
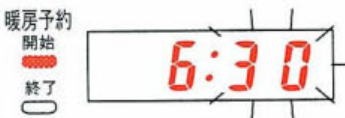
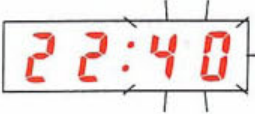
5-4　省エネ運転

・内蔵マイコンの機能により、暖房状況に応じて蓄熱量を自動的にコントロールします。無駄な蓄熱が無く経済的です。

<table>
<tr><td>蓄熱量の設定
「蓄熱量」蓄熱量つまみで初日の蓄熱量を設定します。</td><td></td></tr>
<tr><td>省エネ運転の開始
「省エネ運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、省エネ運転になります。</td><td></td></tr>
<tr><td>省エネ運転の解除
再度、「省エネ運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、省エネ運転が解除されます。</td><td></td></tr>
</table>

注意

・省エネ運転中は蓄熱つまみの設定が無視されます。

・翌日急激に気温が下がることが予想される場合には、蓄熱量が不足する場合がありますので、省エネ運転を解除し手動で蓄熱量を設定する事をおすすめします。

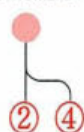
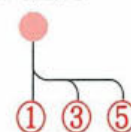
5-5　暖房予約

・タイマー機能を利用して、設定した時間帯のみ、暖房運転を行います。

室温の設定	
「室温」つまみをお好みの室内温度に合わせて下さい。	

暖房予約時間の設定	
例　6時30分から22時40分の間、暖房する場合。 ①「予約設定」スイッチを押します。 ※開始ランプが点灯します。	暖房予約 開始 終了 0:00 点滅する
②「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「**時間**」を合わせます。	暖房予約 開始 終了 6:00
③「予約設定」スイッチを押します。	暖房予約 開始 終了 6:00 点滅する
④「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「**分**」を合わせます。 ※10分単位で変わります。	暖房予約 開始 終了 6:30
⑤「予約設定」スイッチを押します。 ※終了ランプが点灯します。	暖房予約 開始 終了 0:00 点滅する
⑥「時刻調整」スイッチを押して暖房開始時刻の「**時間**」を合わせます。	暖房予約 開始 終了 22:00
⑦「予約設定」スイッチを押します。	暖房予約 開始 終了 22:00 点滅する

⑧「時刻調整」スイッチを押して暖房終了時刻の「**分**」を合わせます。 ※10分単位で変わります。	暖房予約 開始 終了 22:40
⑨「予約設定」スイッチを押すと暖房予約設定を終了し、現在時刻が表示されます。	暖房予約 開始 終了 18:30 点滅する

暖房予約の開始	暖房予約の解除
「暖房予約」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、暖房予約が開始されます。 ※点灯したことを確認して下さい。	再度、「暖房予約」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、暖房予約が解除されます。

暖房予約

5-6　時刻の修正

・時刻表示がずれている場合、時刻を修正します。

①「時刻設定」スイッチを押します。	17:58 点滅する
②「時刻調整」スイッチを押して「**時間**」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	18:58
③「時刻設定」スイッチを押します。	18:58 点滅する
④「時刻調整」スイッチを押して「**分**」を合わせます。 押し続けると数字は早く変わります。	18:00
⑤「時刻設定」スイッチを押すと、時刻表示部の右下が点滅し、時計が動き始めます。	18:00 点滅する

6　故障かな!?と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめて下さい。
これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買いあげの販売店または当社にご相談下さい。

症　　状	調べるところ・原因・対処方法
運転しない	・電源は入っていますか?
蓄熱されない	・200V電源のブレーカーは入っていますか? ・蓄熱つまみが「切」になっていませんか?
温風が出ない	・100V電源は入っていますか? ・室温つまみが「切」になっていませんか? ・暖房予約モードになっていませんか? ・蓄熱はされていますか?
わずかに、においや煙が出る	・初めて使用するときやシーズンはじめであれば、故障ではありません。いつまでも出るようであれば、販売店または当社にご相談下さい。
温風吹き出し口の内部が赤く見える	・故障ではありません。
デジタル表示部にエラーが表示されたとき	・次項の「7　エラー表示が出たら」を参照して下さい。

7　エラー表示がでたら

本機は自己診断機能を持っています。
暖房器に異常が発生した場合は、デジタル表示部にエラーコードが表示されます。
この場合、自動的に蓄熱と暖房運転を停止します。

エラーコード表

エラーコード	異常内容
E-01	蓄熱レンガ温度異常(850℃以上)
E-02	室内温度異常(50℃以上)
E-10*	蓄熱センサー断線
E-20	室温センサー断線

＊：エラーコード「E-10」が出た場合は、すみやかに販売店もしくは当社までご連絡下さい。

エラー表示の止め方

エラーの原因となった異常状態が正常状態に戻っている場合は、以下の操作でエラー表示の点滅が停止し、正常運転に戻ります。

「省エネ運転」ボタン、および「暖房予約」ボタンを同時に押す。

注意　正常に戻らない場合、エラー表示が消えません。また再度エラー表示が出る場合、このエラー表示をご記憶の上、速やかに100V及び200Vの電源(ブレーカー)を切って下さい。その後、販売店もしくは当社までご連絡下さい。

8 据　付

8-1　据付時の注意事項

※電気工事店の方々への注意事項

①壁、家具、棚等から所定の離隔を取った状態で設置してください。
(8-3据付位置決め参照)

周囲を壁や棚で塞ぎ、充分な離隔が取られていないと故障の原因になったり、家具、壁が変質する恐れがあります。特に左右側面については、メンテナンス作業が可能なスペースを確保してください。

②カーペット・畳の上には直接設置しないでください。
(8-3据付位置決めを参照)

③電気配線は必ず、本体付属の耐熱ケーブルをご使用ください。
(8-4本体電気配線と屋内配線の接続を参照)

④必ず転倒防止金具を取り付けてください。　(8-5本体設置を参照)

⑤設計あるいは建築段階で壁に補強板が敷設されていることを必ずご確認ください。その上で本体を設置してください。　(8-5本体設置を参照)
各機種の総重量を必ず確認の上、床補強を行ってください。(11標準仕様を参照)

⑥本体を組み立てるネジは確実に締め付けてください。
(8-6蓄熱レンガの組込を参照)

⑦断熱材は慎重に取り扱ってください。　(8-6蓄熱レンガの組込を参照)
断熱材を破損させたり、変形させた場合はそのまま使用しないで下さい。熱漏れ等により表面が高温になる恐れがあります。

⑧チェックリスト(8-7参照)をご活用の上、据付工事を行ってください。

⑨位置決めなどで、暖房器を移動する場合は、引きずらないで持ち上げて移動して下さい。床を傷つけたり、暖房器の**転倒遮断スイッチが破損**する恐れがあります。

8-2　据付順序

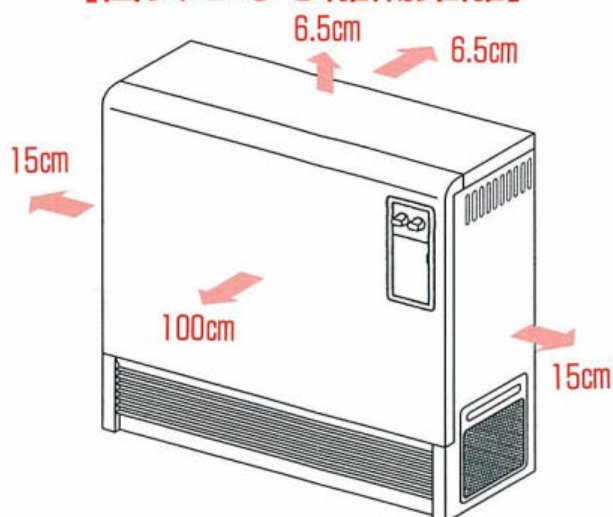
①据付位置決め。
②電源ケーブル(付属)屋内配線との接続。
③本体の固定(転倒防止金具取付)。
④レンガ組込。

8-3　据付位置決め

●本体据付位置の確認

壁・カーテン・家具等に対して離隔を取って下さい。十分な離隔が確保されていないと、カーテン・家具等の変色の恐れがあります。また本体右側面の室温センサー部と放熱グリルを塞がれると機器が誤動作(蓄熱温度過昇防止器または室温センサーが動作)し、故障の原因となる恐れがありますので、特にご注意下さい。

⚠注意事項

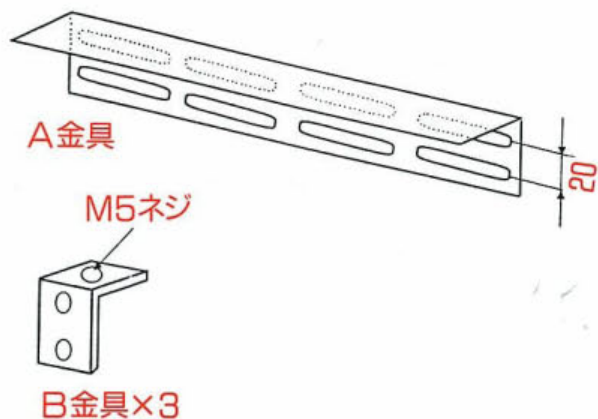
・カーペット・畳の上には直接設置しないでください。
・カーペット上に設置する場合は化粧板を敷いた上に設置してください。(厚さ20%m～25%m)

8-4　電源・制御回路の接続

【電気配線】

配　　線	電圧	機　種	付属ケーブル
ファン電源	100V	全　機　種	耐熱キャブタイヤケーブル 0.75㎟×2C
ヒーター電源	200V	HHK-2000 HHK-3000	耐熱キャブタイヤケーブル 3.5㎟×3C
		HHK-4000 HHK-5000	耐熱キャブタイヤケーブル 5.5㎟×3C
		HHK-6000 HHK-7000	耐熱キャブタイヤケーブル 8㎟×3C

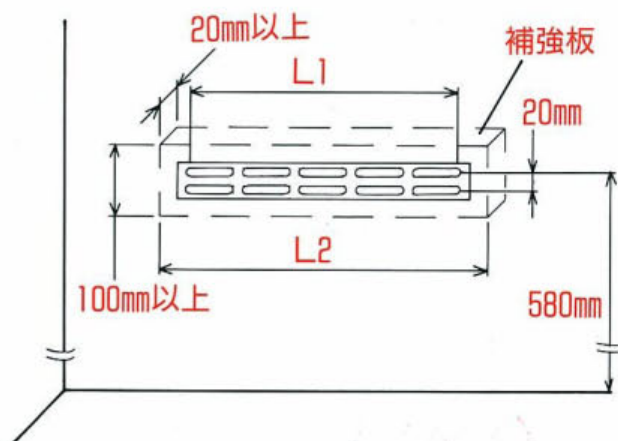
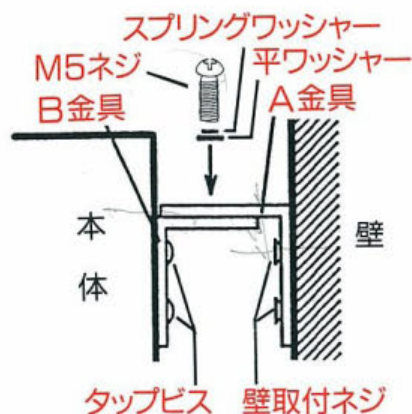
[本体より約1.2m(100V.200Vとも)]

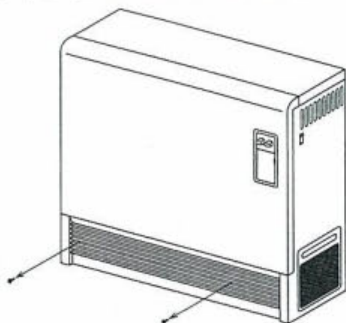
9-5　本体の固定（転倒防止金具取付）

一般的な一戸建住宅で固定する場合を想定しています。高層マンションや高層団地などに設置する場合は、「耐震転倒防止金具設置設計計算」に基づいた内容で固定してください。
地震等による転倒を防止するため、本体を壁に固定して下さい。

機　種	A金具	B金具	M5ネジ	平ワッシャー	スプリングワッシャー	タップビス	壁ネジ
HHK-2000	1	2	2	2	2	4	6
HHK-3000	1	2	2	2	2	4	6
HHK-4000	1	3	3	3	3	6	6
HHK-5000	1	3	3	3	3	6	6
HHK-6000	1	4	4	4	4	8	6
HHK-7000	1	4	4	4	4	8	6

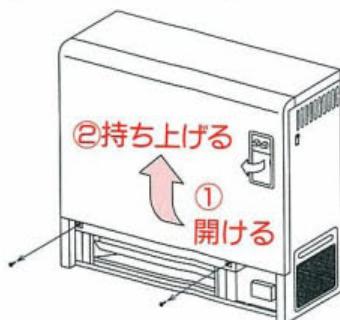
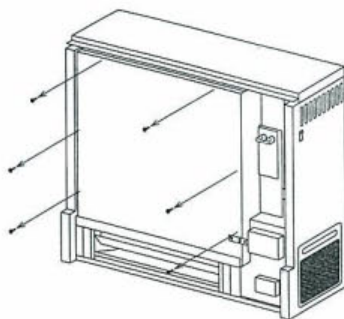
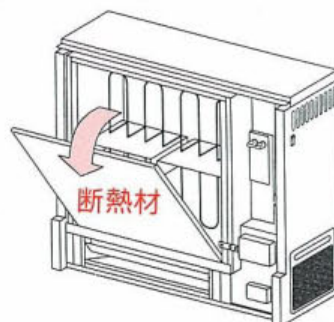
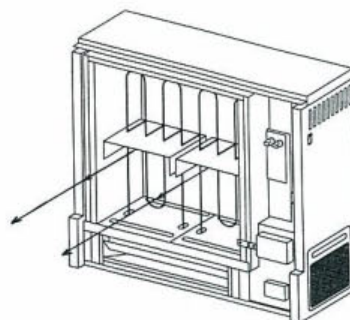
〈L寸法〉

・壁には必ず補強板を用意してください。
・下記表を参考にしてください。

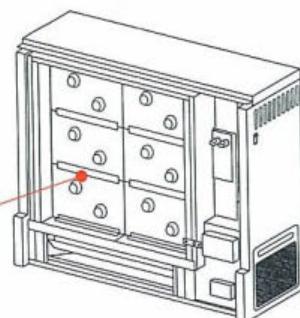
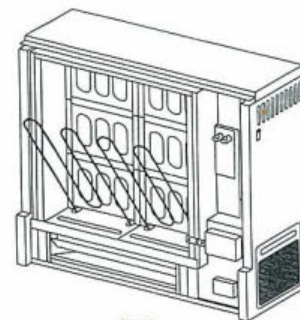
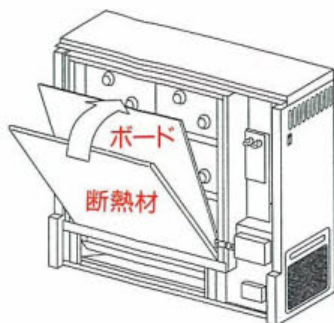
機　種	L1寸法	L2寸法
HHK-2000	533mm	693mm
HHK-3000	728mm	872mm
HHK-4000	810mm	1,051mm
HHK-5000	1,050mm	1,230mm
HHK-6000	1,290mm	1,504mm
HHK-7000	1,530mm	1,683mm

②A金具とB金具(本体)を付属のM5ネジで止めて下さい。

8-6　蓄熱レンガの組込

①吹出グリルを外す。

②操作扉をあけ、次に前板を持ち上げて外す。

③内前板を外す。

項　　目	蓄熱レンガ数量
HHK-2000	12ケ
HHK-3000	18ケ
HHK-4000	24ケ
HHK-5000	30ケ
HHK-6000	36ケ
HHK-7000	42ケ

④断熱材を外す。

⑤ヒーター固定用ダンボールを外す。

⑥蓄熱レンガを組み込む。

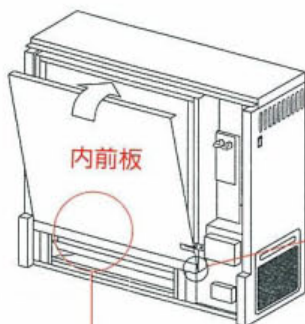
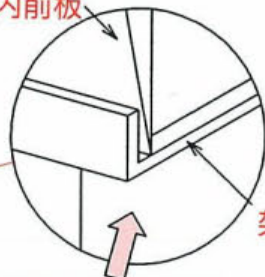
蓄熱レンガにはヒーターをはさむ溝があります。それぞれのヒーターを前後からはさむように後側→前側の順に蓄熱レンガを組み込んで下さい。

後側のレンガを設置する際、レンガによるヒーターの破損には十分注意してください。

⑦断熱材を入れる。

(1)断熱材(マット＋ボード)は下部を先に差し込み、上部をすべらせながら入れます。この時、断熱材を無理に押し込み破損や変形がないようにご注意ください。

断熱材は必ずボードがレンガに接する様に先に組み込んでください。

⚠注意 断熱材は破損しやすいので、注意して組み立ててください。万が一、断熱材が破損した場合、機器の故障原因となる恐れがありますので、新品と交換の上、組み込んでください。

⑧本体を組立てる。

解体と逆の手順で組立てて下さい。

⚠注意：この表示が見えなくなるように板を差し込んでください。
※内前板下部に印字されています。

内前板は必ず架台の内側に差し込んで下さい

8-7 チェックリスト

項目	チェック内容	チェック欄
1	本体設置位置の確認。壁、カーテン、家具等に対して十分離隔を確保したか。 (左右側面15cm以上　上方6.5cm以上　後方6.5cm以上)	
2	本体付属の耐熱ケーブルと屋内配線を確実に接続したか。 (100V. 200V配線の接続間違いはないか)	
3	壁に転倒防止金具を規定の壁固定用ネジ(6本)で確実に固定したか。	
4	本体と壁固定金具はM5ネジ(各指定数)で確実に固定したか。	
5	レンガを組み込む際、蓄熱用ヒーターを誤って曲げたりしていないか。 レンガは後側から組み込み、ヒーターを確実に挟み込んだか。	
6	断熱材(マット＋ボード)は、ボード(6mmの薄い板)の面をレンガ側にして組み込んだか。 (マットが外側、ボードがレンガに接する内側)	
7	断熱材を組み込む際、破損や変形はしていないか。	
8	内前板は、架台の内側に差し込んだか。また内前板下部に印字されている文字が見えなくなるまで差し込んだか。	
9	ネジの締め忘れ、ゆるみはないか。	
10	試運転は行ったか。	

9　補足説明

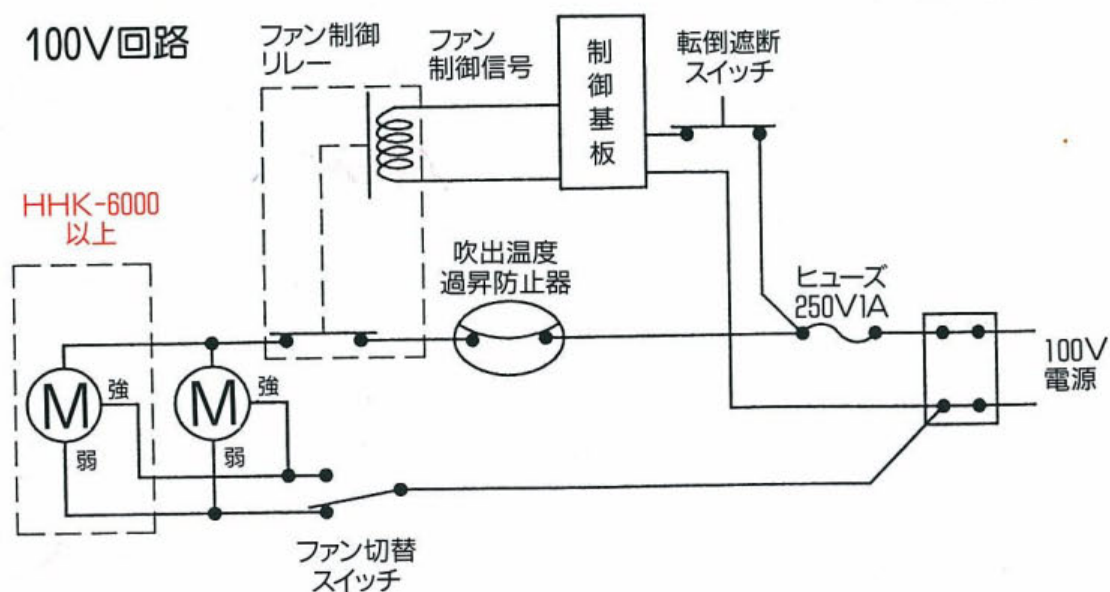
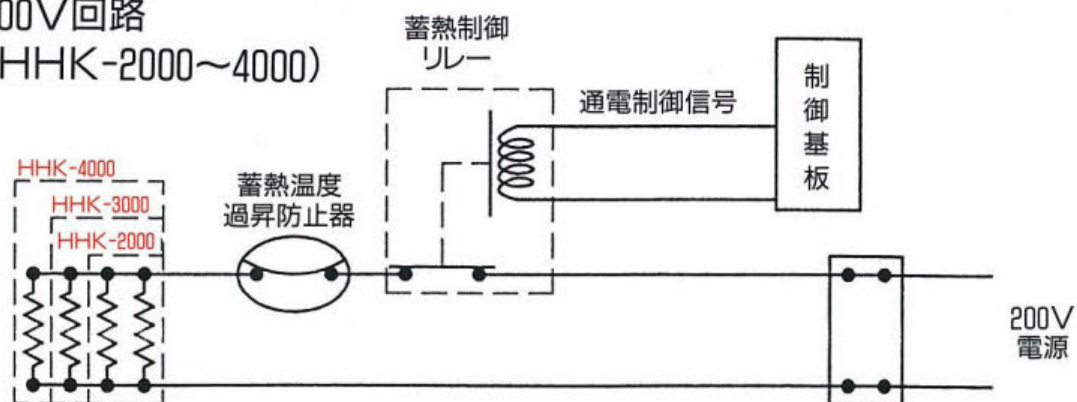
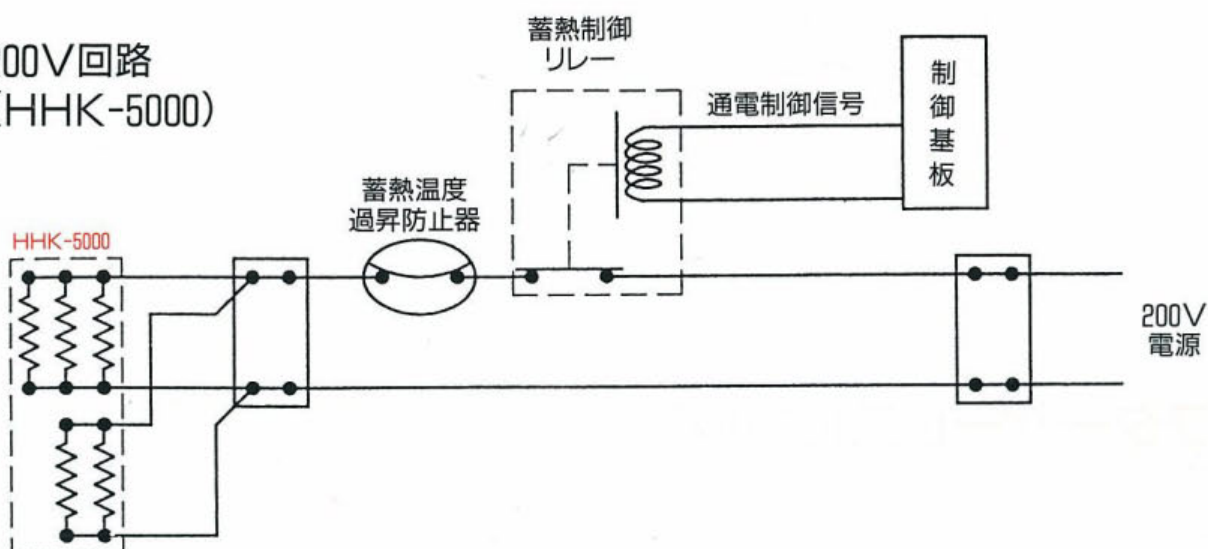
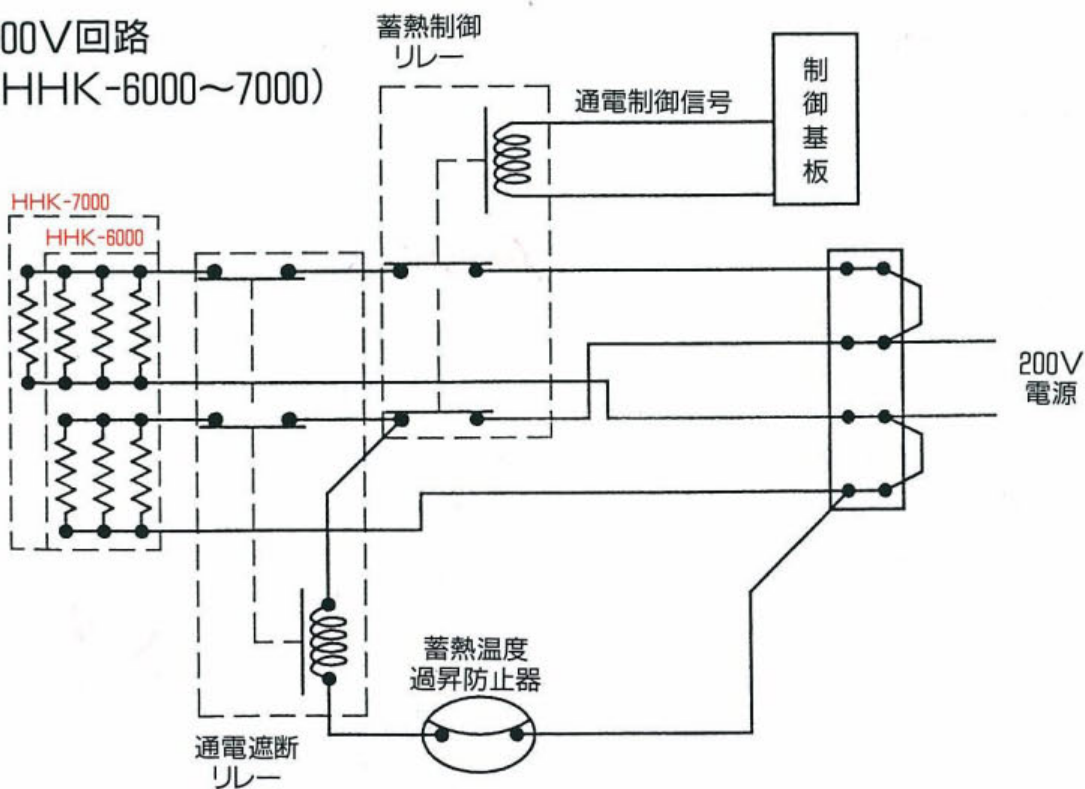
9-1　安全装置

本器には以下の安全装置が装備されております。

安全装置	動作条件	制御内容	復帰方法
蓄熱温度過昇防止器	140℃	蓄熱停止	グリル・前板を外し、リセットスイッチを押す。
吹出温度過昇防止器	160℃	ファン運転停止	自動復帰
100V電流ヒューズ	1 A	ファン運転停止	グリルを外し、ヒューズ交換
転倒時電源遮断スイッチ	手前２°以上傾斜	蓄熱・ファン運転停止	元の状態に戻す

注意：蓄熱温度過昇防止器の作動及び100V電源ヒューズが切れた場合は、販売店又は当社にご連絡下さい。

9-2　電気回路図

200V回路
(HHK-2000〜4000)
蓄熱制御
リレー
通電制御信号
制御基板
HHK-4000
HHK-3000
HHK-2000
蓄熱温度
過昇防止器
200V
電源
200V回路
(HHK-5000)
蓄熱制御
リレー
通電制御信号
制御基板
蓄熱温度
過昇防止器
HHK-5000
200V
電源
200V回路
(HHK-6000〜7000)
蓄熱制御
リレー
通電制御信号
制御基板
HHK-7000
HHK-6000
200V
電源
蓄熱温度
過昇防止器
通電遮断
リレー

10　点検、アフターサービス

点検・お手入れ

暖房器を長く快適にご使用していただくために、ときどきお手入れが必要です。

① 暖房器左右側面の空気吸込口は綿ボコリがたまりやすいので、定期的に清掃することをおすすめします。ほこりがたまった状態でいると暖房能力が低下したりファンの寿命が短くなる場合があります。

② 本体表面のほこりや汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。
ベンジンやシンナー等は表面の塗装を傷めますので、使用しないで下さい。

③ 末永く安心してお使いいただくために、2シーズンに1回程度、お買上げの販売店または当社に点検依頼されることを、おすすめします(有料)。

アフターサービスについて

① この商品の保証書は、裏面に添付しております。
保証書は必ず「お買い上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管して下さい。

② 保証期間中(2年)に修理を依頼される時は、お買い上げの販売店または当社までご連絡下さい。保証書の内容に従って修理いたします。

③ 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または当社にご相談下さい。有償修理いたします。

④ お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは**絶対にやめて下さい。大変危険です。**

⑤ 修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせ下さい。

11　標準仕様

項目		HHK-2000	HHK-3000	HHK-4000	HHK-5000	HHK-6000	HHK-7000
蓄熱	蓄熱方式	8時間蓄熱型(マイコンによる通電制御機能付き、自動・手動切り替え可能)					
	有効蓄熱量	51.3MJ	77.8MJ	104.8MJ	131.0MJ	157.2MJ	185.5MJ
	蓄熱効率	89%	90%	91%	91%	91%	92%
暖房方式		ファン強制放熱型					
定格容量	単相200V	2kW	3kW	4kW	5kW	6kW	7kW
	単相100V	27W	27W	31W	31W	53W	53W
形状	横幅	593mm	772mm	951mm	1,130mm	1,404mm	1,583mm
	高さ	645mm					
	奥行	255mm					
重量	本体	119kg	171kg	223kg	275kg	327kg	379kg
	蓄熱体	84kg	126kg	168kg	210kg	252kg	294kg
蓄熱レンガ数量		12ケ	18ケ	24ケ	30ケ	36ケ	42ケ
材質	蓄熱レンガ	酸化鉄系					
	断熱材	シリカ・アルミナ系断熱材					
制御	蓄熱量	切、小～連続手動設定及び内蔵マイコンによる自動設定					
	室内温度	切、10～30℃連続設定、暖房予約タイマー付き(外付けセンサーオプション)					
	ファン切替	弱・強2段階切替(本体内蔵)					
安全装置		○蓄熱温度過昇防止器　○吹出温度過昇防止器					
		○電流ヒューズ(1A)　○転倒時電源遮断スイッチ					
本体カラー		アイボリー系					

※1 有効蓄熱量＝定格容量×通電時間×蓄熱効率×3.6(1KW＝3.6MJ)
※2 8時間蓄熱時

■仕様の一部をおことわりなく変更することがあります。